

2022年度 第3回

オンラインライブ  
配信

# 一人一人の子供を主語にする 学校教育を支えるICT活用

日  
時

2022年

7/ 木 THU

21

16:00~18:00

日程が変更になりました  
ご注意ください配  
信  
ツ  
ール

Zoom

※受講者の皆様には  
セミナーの詳細を  
メールでお送りします。対  
象私学の  
教職員の方費  
用11,000<sup>(税込)</sup>円/人  
私学マネジメント協会  
会員校は無料講  
師

高橋 純氏

たかはし じゅん

東京学芸大学教育学部教授/  
日本教育工学協会会長

## 講演概要

① 一人一人の子供を  
主語とする学校教育個別最適な学び、  
協働的な学び② 学校教育全体の  
デジタル化授業と校務の  
デジタル活用法

③ 事例紹介

取り組みの紹介と  
ポイント

2022年7月開催の私学マネジメント定例セミナーは、東京学芸大学教育学部教授・日本教育工学協会会長でいらっしゃる高橋純氏にご登壇いただきます。

令和の中教審答申では、「個別最適な学び」「協働的な学び」を含む大きな考え方として「一人一人の子供を主語とする学校教育」を目指すべき姿として示しています。児童生徒一人1台端末は、これらを実現する上で欠かせないツールです。

今回のセミナーでは、端末の活用を前提とした授業づくりが求められている中で、「一人一人の子供を主語」を目指した教育方法の変化といった根本的な取り組みや、授業だけでなく校務に関するデジタル化についてもご紹介していきます。皆様、ぜひご参加ください。

## Message

GIGAスクール構想をはじめとした一連の施策は、学校教育全体のデジタル化を意図したものと言えます。校務は校務で、授業は授業で、とデジタル化を図るのではなく、校務も授業も同じような活用法でつなげていくことが、投資や研修等のコストを減らします。その結果、多くの関係者が便利さを感じたり、納得しやすくなったりし、普及につながっています。こうした取り組みを行っている地域の具体例やそのポイントを含めて報告します。

## Profile

1972年神奈川県生まれ。博士(工学)。教育工学、教育方法学、教育の情報化に関する研究に従事。東京学芸大学教育学部教授。中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員(教員養成部会、「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会、教員免許更新制小委員会)、文部科学省「GIGAスクール構想下での校務の情報化の在り方についての専門家会議」座長代理、文部科学省「教育データの利活用に関する有識者会議」委員など。日本教育工学会理事、日本教育メディア学会理事、日本教育工学協会会長など

## お申込みについて



左のQRコードまたは下記のURLから私学マネジメント協会のホームページにアクセスし、「セミナー申込み」へ進んでください。

申込フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

受付完了後、ご入力いただいたメールアドレスに「受付完了メール」が自動送信されます。数時間たっても受信しない場合は、お手数ですが、再度お申込みください。

私学マネジメント協会

<https://school-management.jp/>

## ご請求について

開催終了後に受講料の請求書をお送りします。(会員校は無料)

期日までにキャンセルのご連絡がない場合は、受講料を請求させていただきます。

(詳細は受付完了メールをご参照ください)

## 感染症対策について



会場開催時における当協会の感染症対策につきましては、当協会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

講演会・各種講座・研修開催時における感染症拡大防止策について  
[https://school-management.jp/service/lecture/guideline\\_event.php](https://school-management.jp/service/lecture/guideline_event.php)